

お客様へのご注意事項



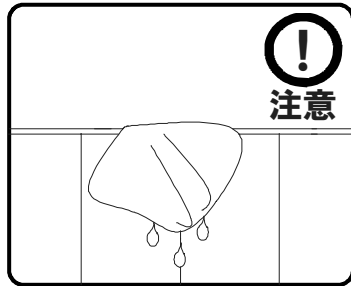
不安定なものはのせない
カウンターや棚板の上には、不安定なものや、キャビネットからはみ出るような大きいものはのせないでください。落下し、けがをするおそれがあります。



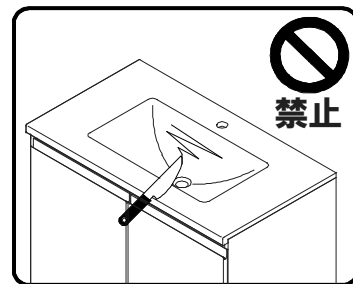
キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉め、保管方法に注意する。
※腐食性ガスが発生すると、蝶番・レールのサビや動作不良の原因になります。
キャビネットや容器に付着した場合は、すぐに拭き取ってください。



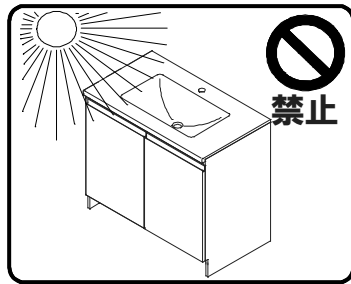
化粧品・除光液・うがい薬などが付着したら、すぐに拭き取る。
※除光液、クレンジング剤などの化粧品、整髪料、毛染剤、脱色剤、うがい薬、芳香剤、漂白剤、洗剤などは、製品に悪影響を与えるものもあります。ヒビ割れや変形が発生して部材が破損・落下し、けがをするおそれがあります。



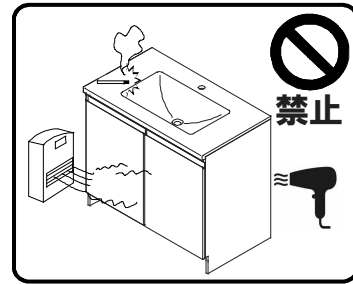
ぬれたタオルをかけない
本体キャビネット・扉のふくれの原因となります。
※スマートサニタリー本体にタオル掛け等は施工しないでください。



洗面ボール内で刃物や先端が鋭利な物を使用しない
※傷の原因となります



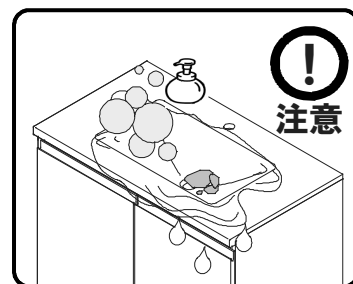
直射日光やスポット照明・殺菌灯などを当てない。
※変色や変形のおそれがあります。直射日光はカーテンなどで必ずさえぎってください。



ヒーターなどの暖房器具やタバコ・マッチなどの火気を近づけない
※変色やコゲ跡がつくおそれがあります。
ヘアドライヤーの熱風を直接あてない
※変色や変形の原因となります。



ヘアピンやカミソリの刃などの金属類を放置しない。
※サビが取れなくなるおそれがあります。



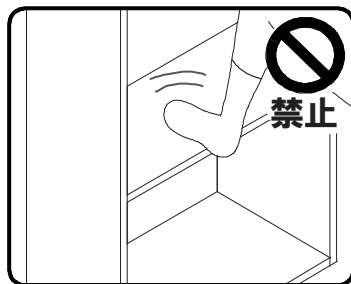
排水口に固形物を流さない
※排水パイプがつまって、知らずに湯水を流すとボウルから水があふれ、床に流れ出すおそれがあります。
※固形物に限らず、大量に泡を流した場合、泡がスムーズに排出されずにボウルから水があふれるおそれがあります。



過度に重い物を収納しない
破損、変形の原因となり、収納物の落下などにより、けがをするおそれがあります。物を均等にのせた場合の積載許容量です。



可動棚板を移動するときには、載せているものを全て降ろしてからおこなう
棚板ごと物の出し入れをすることは危険ですのでお止めください。

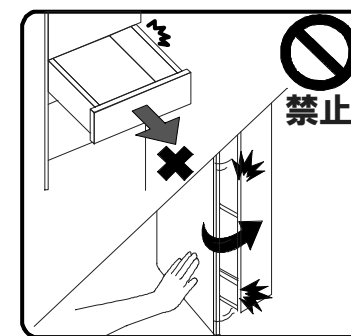


棚板に足や手で荷重をかけない
棚板に手や足で荷重を掛けないでください。鉄アレイなどの重量物は載せないでください。

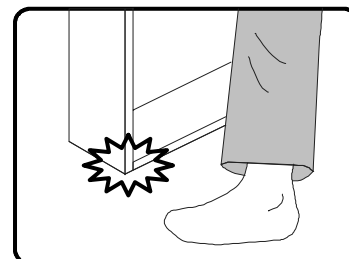
お客様へのご注意事項



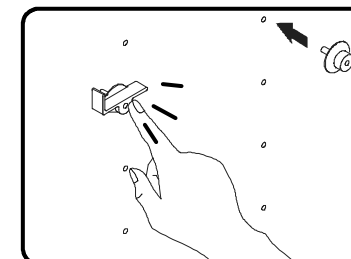
天板の上、扉や引出の上に乗らない
扉にぶら下がったりしない
破損、転倒、落下の原因になり、けがをするおそれがあります。
もたれかからない
キャビネットにもたれかからないでください。金具の破損や転倒や落下の恐れがあります。



大きく開けすぎたり強く開閉しない
扉がはずれたり、脱落してけがをするおそれがあります。また、手足の指を挟まないようにご注意ください。
消音ダンパー付きの扉は、過度なスピード、荷重で閉めないでください。また、消音ダンパー作動中に手動での開閉はしないでください。
消音ダンパーの動作不良や破損につながる恐れがあります。



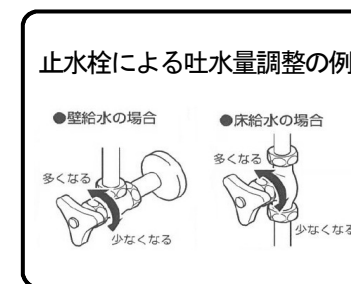
キャビネットの角部にぶつけないよう注意する
小さなお子様の場合、頭や身体をぶつけて、けがをするおそれがあります。



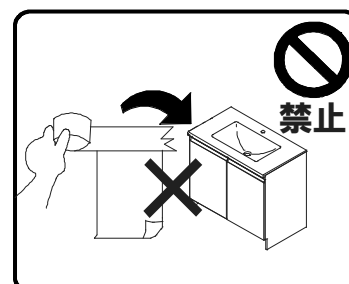
棚受けダボは確実に奥まで差し込む
棚板がしっかり固定されていることを確認し、ご使用してください。



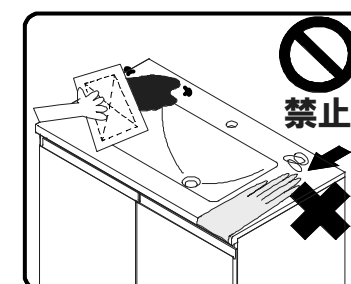
自家用井戸水は使用しない
井戸水の成分によっては製品劣化、損傷による漏水のおそれがあります。
洗面ボウルに直接、熱湯等の熱いものを流さない
洗面ボウル等の製品の变形・破損を招くおそれがあります。



止水栓による吐水量調整の例
●壁給水の場合 ●床給水の場合
多くなる 少なくなる
洗面ボウルより水があふれる場合や水ハネが気になる場合は止水栓にて吐水量を調整してください
※左図は一例です。



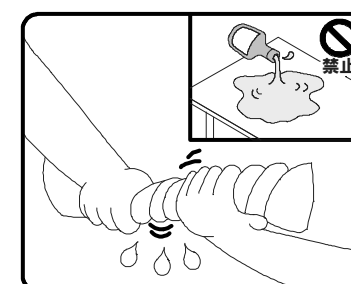
シールやテープ類を貼らない
粘着剤で製品の表面が侵されたり、汚れが残るおそれがあります。



汚れはすぐに洗い流す
放置すると汚れが落ちにくくなりサビや変色の原因となります。また、塩ビ系のゴム手袋や輪ゴム等を長時間放置すると変色するおそれがあります。



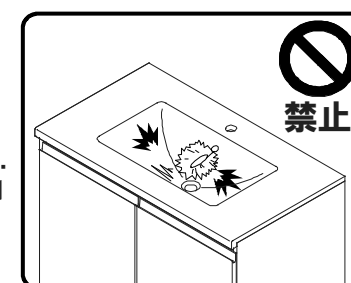
濡れたまま放置しない
キャビネットに水がかかったりこぼした時は、すぐに拭き取ってください。木質素材でできていますので、表面材の剥がれや膨れ、変形の原因となります。
※水がたまりやすいキャビネットの上下端部も拭き取ってください。
お手入れ



清掃は柔らかい布に薄めの中性洗剤をつけて、かたく絞って拭いてください
表面をアルコールやベンジン、灯油などで拭かないでください。
お手入れ



有機溶剤、強酸・強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤、塩素系洗剤は使用しない。漏水や変色・破損・表面劣化の原因となります。
※みがき粉・シンナー・アセトン・カビとり剤・ベンジン・酸性洗剤は使用できません。
お手入れ

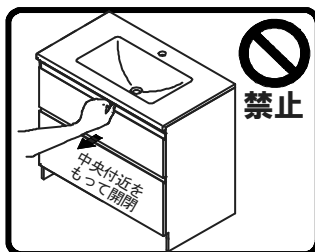


お手入れの際に金属のたわしや硬いスポンジ、研磨剤入り洗剤、歯みがき粉などを使用しない
※洗面ボール表面・排水栓に傷が付いて、汚れがおちにくくなるおそれがあります。
お手入れ

お客様へのご注意事項

■引出は中央付近をもってゆっくり開閉してください。

端に手をかけて開閉すると、開閉しづらい場合や、レールが破損するおそれがあります。



■耐荷重の目安

耐荷重は均等荷重となります。
耐荷重以上のものをのせると、製品が破損するおそれがあります。
耐荷重以下でも重量物をのせた場合、たわみが目立つ場合があります。

部位	耐荷重
・地板	各10kg
・可動棚	各 5kg
・引き出し用地板	各10kg
・引出	30kg
・カウンター	

■深型ボウルの場合のボウル下引出し収納寸法について
上段の引出しに高さ80mm以上の物を収納すると、ボウルと干渉し、引出が閉まらない、収納物の倒れ、破損のおそれがあります。
収納寸法については右のリンク先をご覧ください。



お手入れ

ポストフォームカウンター 下箱扉・パネル類 (メラミン化粧板部分)	<p>【普段のお手入れ】柔らかい布で水拭きを行ってください。その後乾いた布で水分をきれいに拭き取ってください。 【しつこい汚れ・ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れ落としはクレンザーや金属製のたわし類は使用せず、必ず中性洗剤を使用してください。 ・汚れは放置すると取り除きにくくなりますので、はやめに取り除いて下さい。 ・油污れ等は、柔らかい布かスポンジに、中性洗剤をつけ拭き取ってください。 ・中性洗剤で落ちない汚れは、アルコール・シンナー等の溶剤を使って落としてください。 (ナイロンたわし、金たわし等の硬いものやクレンザー等の研磨剤の入った洗剤を使用しないでください。) ・酸、アルカリ性薬品、洗剤等で拭くと、変色や変質の原因となりますので絶対に使用しないでください。 ※次亜塩素酸系漂白剤等を用いて除菌する場合は、残存しない様に、必ず拭き上げてください。 ・ヨードチンキ、毛染め剤、養毛剤等の薬液がかかったまま放置しておきますと、表面が変色する事がありますので、すぐに取り除いてください。
コーリアンカウンター ラバトリーボウル	<p>【お手入れの前に】「ソコフ」などのこげ落とし専用クリーナーは表面を傷めますので絶対に使用しないでください。 【普段のお手入れ】日常の汚れや水垢などは水拭き、またはキッチン用洗剤を浸した布で拭くだけで十分きれいになります。部分的に拭いただけだとムラになりますので、全体的にお手入れしてください。 【しつこい汚れ・ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をしっかり含ませたメラミンスポンジ・クリームクレンザーまたはスコッチブライト・スポンジたわし(研磨粒子付)で弧を描くように軽く磨いてください。 ソリッドカラーシリーズ以外は、上記手順の後、水洗いしたスコッチブライト・スポンジたわし(研磨粒子付)で軽く磨いてください。 ※濃色系を研磨剤入りナイロンタワシやクリームクレンザーで磨くと、微妙な艶違いを生じうっすら白くなりますので、ご使用はお勧めしません。 ・次亜塩素酸ナトリウム系漂白剤を原液のまま使用しないでください。ご使用の際は濃度3%以下に必ず希釈してください。ご使用後は水拭きしてください。漂白剤はメーカーの使用法に従ってください。 ・濃色系は、水シミ、手油、キズなど他の色に比べて目立ちます。水シミの原因となりますので、水等の汚れはすぐに拭き取ってください。 ・アルコールを使う場合は、ペーパータオル等に含ませて使用し、必ずアルコールが揮発したことをご確認ください。アルコールが揮発できない状況をつくった場合には表面が荒れてしまう場合があります。 ・ベッセルデザイン(内水栓)ボウルは給水栓取付周辺に水が溜まる場合があります。こまめに拭き上げてください。
フィオレストーン カウンター	<p>【普段のお手入れ】柔らかい布で水拭きを行ってください。その後乾いた布で水分をきれいに拭き取ってください。 【しつこい汚れ・ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温水で湿らせた布に、漂白剤・研磨剤を含まない少量のクリーナーを含ませて拭き取ってください。 ※頑固な汚れは、研磨粒子付でないスポンジ・たわしをご使用ください。 ※マット仕上げは指紋跡や汚れが目立ちやすく、跡が残りにくい為、台所用中性洗剤を用いて拭き取ってください。 ・水垢汚れは市販のクエン酸スプレーで浸し、拭き取ってください。 ・汚れは直ぐに取り除き、油分の付着により艶が高くなった場合、食器用洗剤や消毒用エタノールを使い、柔らかい布で拭き上げてください。
水栓金具・排水金具	<p>【普段のお手入れ】柔らかい布で水拭きを行ってください。その後乾いた布で水分をきれいに拭き取ってください。 【しつこい汚れ・ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯ブラシや中性洗剤を含ませた柔らかい布で丁寧に拭き取った後水拭きし、その後乾いた布で水分をきれいに拭き取ってください。 ・メッキ部分にクレンザー・ナイロンタワシ・メラミンスポンジを使用しないでください。
キャビネット類 (化粧シート部分)	<p>【普段のお手入れ】乾拭き、又は5倍に薄めた台所用中性洗剤を付けた柔らかい布を硬く絞って軽く拭いてください。 【ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れは直ぐに拭き取ってください。濡れた際は直ぐに乾いた布で拭いてください。 ・有機溶剤、強酸・強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤、塩素系洗剤等を使用しないでください。

詳細は、弊社ホームページ、カタログ(スマートサニタリー・スタイリッシュカウンター・カウンターポケット)、その他製品同梱ガイドもご確認ください。

調整方法

■開き収納・ミラー収納扉の位置調整

ダンパー付丁番

A側に回すとミラー収納の扉がゆっくりと閉じます。
B側に回すとミラー収納の扉が速くと閉じます。
(5段階調節)

前後調整
ネジを回すと扉が前後します。
(右回り・左回り共同)

上下調整
右に回すと下がり、左に回すと上がります。

左右調整
右に回すと中心線に寄り、左に回すと中心線より遠ざかります。

■引出扉の位置調整

サイド引出収納

左右調整

±1.5mm

上下調整

±1.0mm

ボウル下収納引出タイプ・カウンター下引出収納

左右調整

左右に±1.5mm調整

上下調整

上下に±2.0mm調整

扉の倒れ(下引出)

<ご注意>
引出扉は下側中央でL金具にてビス固定されています。
必ずビスを外してから調整下さい。
調整後、再度固定します。

側板裏のレバーを押しながら、上に持ち上げると引出を外せます。無理に取り外しを行わないでください。引出を外した際には、レール周辺部のゴミ・汚れを除去してください。

SS-123-010-AI-02

アイカ工業株式会社

ホームページアドレス

<http://www.aica.co.jp/>



アイカ問合せセンター
※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSの一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。
☎<0120> 525-100 TEL <052> 409-8313 FAX <052> 409-1482